

就職活動中の大学3年生に聞く 第2回ソーシャルリクルーティング調査

「コミュ軽（コミュかる）」で定着する「ソー活」

～今年の「ソー活」のキーワードは「コミュニケーションがとりやすい」「手軽」～

ソー活は就職活動の定番に

2年連続で約半数（45.3%）の学生が就職活動にSNSを利用

ソー活にはFacebook

ソー活に利用しているSNSの1位が逆転
3位にLINEがランクイン

1位Facebook（30.3%）2位Twitter（22.7%）3位LINE（13.0%）

Facebookは公的、Twitterは私的利用

女性の方が積極利用

就職活動にSNSを利用している理由に男女差

少しでも企業の情報が欲しいから 男：女=27.0%：38.4%

エントリーシートや面接のヒントを得るため 男：女=11.1%：26.0%

使える手段はすべて使いたいから 男：女=12.7%：19.2%

お問い合わせ
はこちらまで

株式会社 電通パブリックリレーションズ
東京都中央区築地5-6-4 浜離宮三井ビルディング 7階

ソーシャルメディア実験室「アンテナ」/伊澤・末次



03-5565-8410



lookup@sec.dentsu-pr.co.jp

株式会社電通パブリックリレーションズでは、2012年6月、ソーシャルメディアをテーマに、ソリューション開発やノウハウ蓄積を行う社内横断組織「ソーシャルメディア実験室『アンテナ』」を設立しました。

このたび『アンテナ』では、2012年12月から就職活動を本格スタートさせた大学3年生を対象に、就職活動におけるソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNS）の利用状況に関する調査を実施。昨年も同条件で調査を行っており、経年変化を調べるとともに、2013年の就職活動の特徴をあぶり出しました。

- 調査名 : 大学3年生における「ソーシャルリクルーティング」に関する調査
- 調査対象者 : 就職活動をしている大学3年生
関東：1都3県に居住する人/関西：2府2県に居住する人
- サンプル数 : 男性150サンプル/女性150サンプル

		n	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
全体		300	35	24	113	50	18	30	19	11
		100.0	11.7	8.0	37.7	16.7	6.0	10.0	6.3	3.7
性別	男性	150	20	11	40	34	7	20	11	7
		100.0	13.3	7.3	26.7	22.7	4.7	13.3	7.3	4.7
	女性	150	15	13	73	16	11	10	8	4
		100.0	10.0	8.7	48.7	10.7	7.3	6.7	5.3	2.7

- 調査期間 : 2012/12/28~2013/1/16
- 調査方法 : インターネット調査

<ご参考：過去のアンテナ調査>

- 2012年 7月 「まとめサイトの利用実態調査」 ~18.5%が1日に何度も利用する“ヘビーユーザー層”~
- 10月 「男女間におけるソーシャルメディア活用調査」
~ソーシャルメディア上で彼氏・彼女とつながりたくない層は8割~
- 12月 2012年 年末SNS調査 ~来年のSNS界に“期待の声”、6割超~
~2013年のキーワードは“アンチユビキタス（オンリーユー型の情報づくり）”~

目次

調査概要	P.2
調査結果からの考察「アンテナInsight！」	P.3
約半数の学生が就活でSNSを利用	P.4
就活に利用するSNS、FacebookがTwitterを逆転	P.5
約2割の学生が公私でSNSアカウントを使い分け	P.6
4割以上の学生がFacebookで企業情報を収集	P.7
就活でのSNS利用は、女性の方が積極的	P.8
公的・企業向けのFacebook vs 私的・個人向けのTwitter	P.9
メリットは手軽さと交流のしやすさ	P.11
就活のSNS利用で困っていること第1位は「不用意発言」	P.12

<お願い>

本調査内容を転載・引用する場合、転載者・引用者の責任で行うとともに、弊社の調査結果である旨を明示して下さい。

■「コミュ軽」が「ソー活」の定着を後押し

就職活動において、約半数（45.3%）の学生がSNSを利用していると回答しました。これは、各メディアでソー活元年と言われた2012年とほぼ同じ利用率で、SNSが就職活動におけるひとつの手段として定着したと考えられます。

利用するSNSは、昨年はTwitter（34.3%）、Facebook（31.7%）の順で支持されていましたが、今年はFacebook（30.3%）、Twitter（22.7%）で順位が逆転。これは、SNSの普及においてFacebookの利用者数がTwitterを上回った※ことが大きな要因ですが、Facebookは、学生や企業にとってエンゲージメントを高められるメディアであることがもうひとつの理由だと考えられます。

<Facebookは学生の名刺代わり>

実名で利用されるFacebookは、知り合ったその場で挨拶代わりに相手を検索し友人登録できることや、その後も日常的な利用の延長線上で手軽に就職関係情報を入手（講読）したり、知り合った就職活動仲間とコミュニケーションを取りやすいところが便利なツールです。実名で自分のパーソナリティを表現できるFacebookは、学生にとって言わば、名刺のような役割を果たしているメディアであると考えられます。

<更新しやすさが企業にとっての魅力>

Facebookを採用活動に取り入れている企業の多くが、企業ページまたは採用専用の企業ページを作成・利用しています。料金がかからず、文字数制限がない、写真を際立たせた投稿が可能、という点で、Twitterよりも企業の雰囲気などをアピールできる。自社のWEBサイトを作成する感覚の延長線でありながらリクルート情報が更新しやすく、現代っぽさも感じさせることができ、情報感度の高い人材に届きやすい。このような点を企業はメリットとして感じているのではないのでしょうか。

利用する企業が増えれば、学生が利用するのは必然。昨今“SNS疲れ”という言葉も聞かれますが、ソーシャルネイティブである今の学生にとっては、SNS利用に対する不安はさほど強くなく、「コミュ軽」な「ソー活」は、普段の生活をあまり変えずにできる就活情報収集として魅力。ソーシャルメディアは、就職活動全体の労力を軽減するわけではありませんが、学生たちのサポートツールとして今年も活用されると見込まれます。

■今年の学生はのんびり？

本調査は、企業の採用広報活動が解禁された昨年12月1日を就職活動の起点として捉え、「就職活動をスタートしてから1カ月」をテーマに、1月上旬に調査を行っています。昨年に比べて、全体的に低いスコアをマークしていることも、今年の調査結果のひとつの特徴です。

すでに多くのメディアで「今年の学生はのんびりしている」との報道が見られますが、本調査結果からもその傾向は見受けられます。

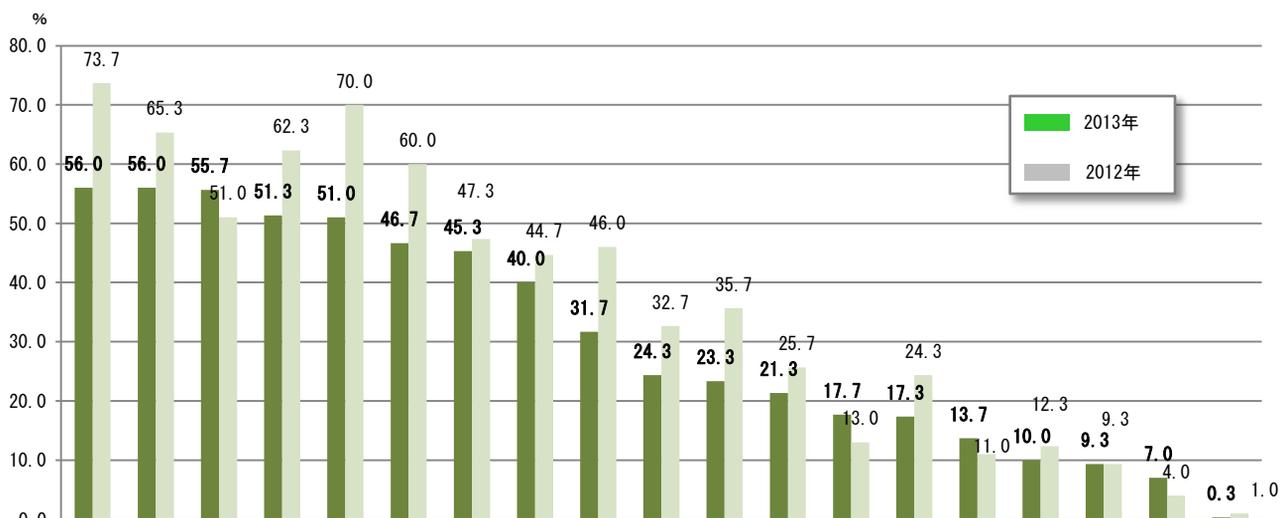
例えば、現在行っている就職活動を尋ねた質問では、「業界研究セミナーに参加する」「インターンシップに参加する」「大学の教授に相談する」「特になにもしていない」の4項目を除く15項目で、昨年より低いスコアをマークしました。同質問で昨年1位だった「リクナビなどの就職ナビサイトに登録する」は、73.7%から56.0%と、今年は大幅ダウン（順位は1位）。また、就職活動にSNSを利用していると回答した学生で「少しでも企業の情報が欲しいから」を理由に挙げた人は、昨年と比較して22.1%減少し、「使える手段はすべて使いたいから」を理由に挙げた人は14.1%減少しました。

この理由は、直接的には調査から出ていないので、推察となりますが、昨年は、企業の採用活動が12月スタートになった初年度であったため、約7割の学生が漠然とした不安や焦りを抱いていました（2012年1月実施 弊社調査より）。そのため、就職活動をスタートした12月における情報収集意欲や就職活動情報に対する飢餓感是非常に高かったと考えられます。一方、今年の学生にとっては、12月スタートはいわばスタンダード。昨年よりもゆったりと焦らずに就職活動をスタートしているのではないのでしょうか。

全体的に、昨年よりも低い回答傾向がみられた。1~5位間にあまりスコア差がないのが今年の特徴。今年調査で、昨年よりも増えているものは、「業界研究セミナーに参加する」(55.7% ※4.7%増)、「インターンシップに参加する」(17.7% ※4.7%増)、「大学の教授に相談する」(13.7% ※2.7%増)。

「就職活動の一環としてSNSを利用する」との回答は、昨年、今年ともに7位で、順位は変わらず、「大学の就職課/キャリアセンターに行く」よりも上回った。数値は45.3%で、昨年より2.0%減少した。

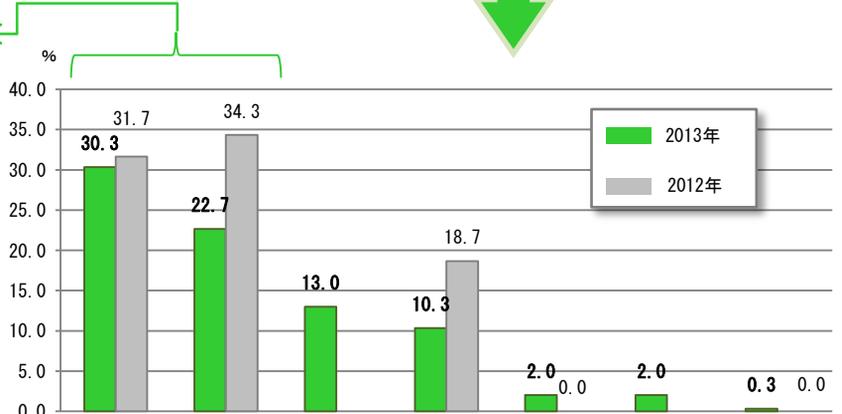
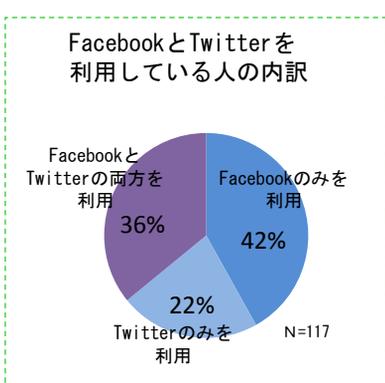
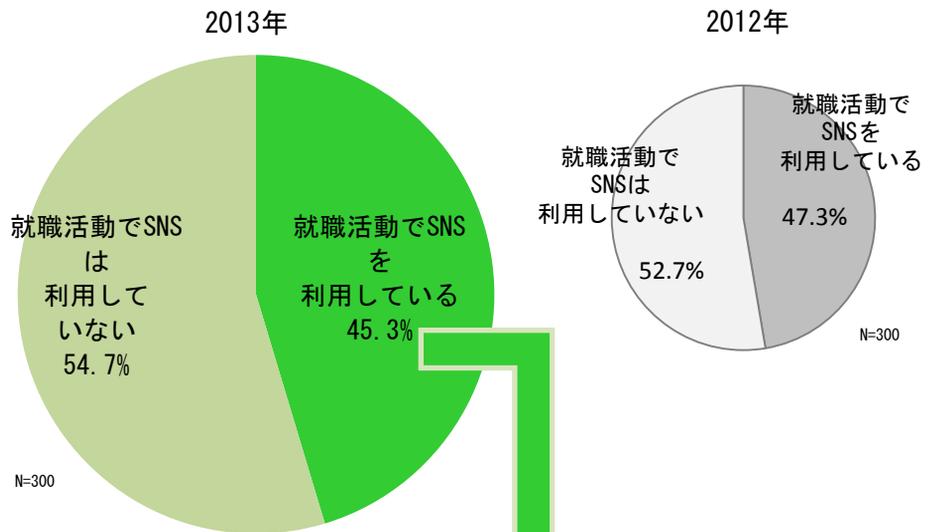
Q. あなたは現在、ご自身の就職活動において、どのようなことをやっていますか。次の中から行っているものすべてお答えください。(MA)



		N	リクナビなどの就職ナビサイトに登録する	合同企業説明会や就活フォーラムに参加する	業界研究セミナーに参加する	企業が個別に実施するセミナーや会社説明会に参加する	企業のウェブサイトを見る	大学のガイダンスを受ける	就職活動の一環としてSNSを利用する	大学の就職課/キャリアセンターに行く	家族と就職について話す	先輩に相談する	会社案内をもらう	みんなの就職活動日記を見る	インターンシップに参加する	志望する企業や業界の情報を収集する	新聞・雑誌や田のニュースサイトを読んで、	大学の教授に相談する	企業を訪ねる	OB/OGを訪問する	特に何もしていない	その他
2013全体		300	168	168	167	154	153	140	136	120	95	73	70	64	53	52	41	30	28	21	1	
		100.0	56.0	56.0	55.7	51.3	51.0	46.7	45.3	40.0	31.7	24.3	23.3	21.3	17.7	17.3	13.7	10.0	9.3	7.0	0.3	
2012全体		300	221	196	153	187	210	180	142	134	138	98	107	77	39	73	33	37	28	12	3	
		100.0	73.7	65.3	51.0	62.3	70.0	60.0	47.3	44.7	46.0	32.7	35.7	25.7	13.0	24.3	11.0	12.3	9.3	4.0	1.0	
2013性別	男性	150	90	99	86	89	79	76	63	65	47	36	38	29	31	27	22	19	15	4	1	
	女性	150	78	69	81	65	74	64	73	55	48	37	32	35	22	25	19	11	13	17	0	
		100.0	52.0	46.0	54.0	43.3	49.3	42.7	48.7	36.7	32.0	24.7	21.3	23.3	14.7	16.7	12.7	7.3	8.7	11.3	0.0	
2012性別	男性	150	100	94	77	86	98	81	64	58	61	51	52	35	19	38	18	20	12	9	2	
	女性	150	121	102	76	101	112	99	78	76	77	47	55	42	20	35	15	17	16	3	1	
		100.0	80.7	68.0	50.7	67.3	74.7	66.0	52.0	50.7	51.3	31.3	36.7	28.0	13.3	23.3	10.0	11.3	10.7	2.0	0.7	

就職活動でSNSを利用している学生の割合は、昨年とほぼ変わらない結果となった（昨年から2%減）。利用しているツール別に見ると、昨年の1位、2位が逆転し、Facebookが首位となった。また、LINEが新登場ながら13.0%で第3勢力となり、存在感を示している

Q. あなたは、就職活動をする上で、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用していますか。利用しているSNSをすべてお答えください。（MA）
※アカウントは持っていますが、そのSNSを就職活動で利用していない場合には選択しないでください。



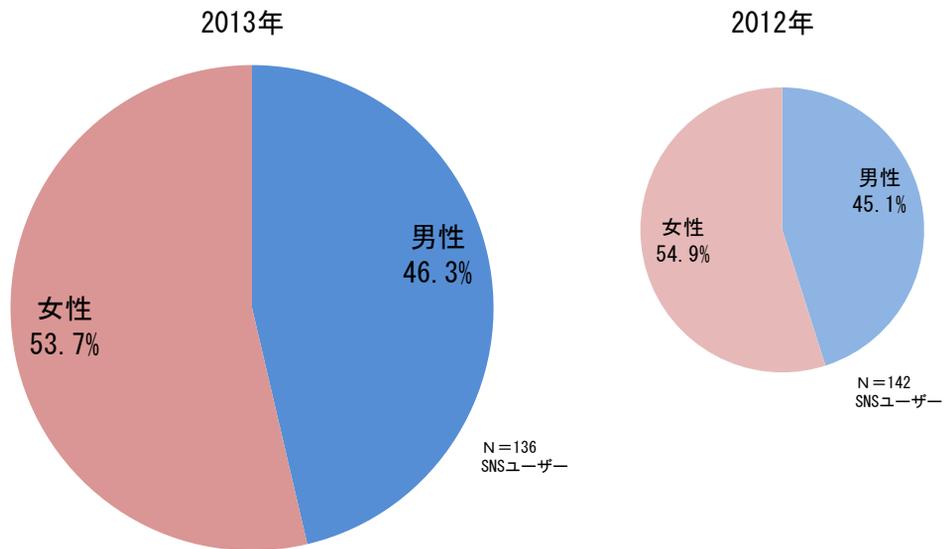
		N	Facebook	Twitter	LINE	mixi	LinkedIn	Comm	その他
2013全体		300	91	68	39	31	6	6	1
		100.0	30.3	22.7	13.0	10.3	2.0	2.0	0.3
2012全体		300	95	103		56	0		0
		100.0	31.7	34.3		18.7	0.0		0.0
2013性別	男性	150	44	33	24	17	3	5	0
	女性	150	47	35	15	14	3	1	1
		100.0	31.3	23.3	10.0	9.3	2.0	0.7	0.7
2012性別	男性	150	45	45		26	0		0
	女性	150	50	58		30	0		0
		100.0	33.3	38.7		20.0	0.0		0.0

※LINEとCommは今回調査からの追加項目

SNS利用者の男女別割合は、昨年同様、女性がやや優勢の結果となり、傾向に変化は見られない。
 アカウントの使い分けは、「プライベート用と就職活動用のアカウントを使い分けている」と回答した人が3.8%と微増。

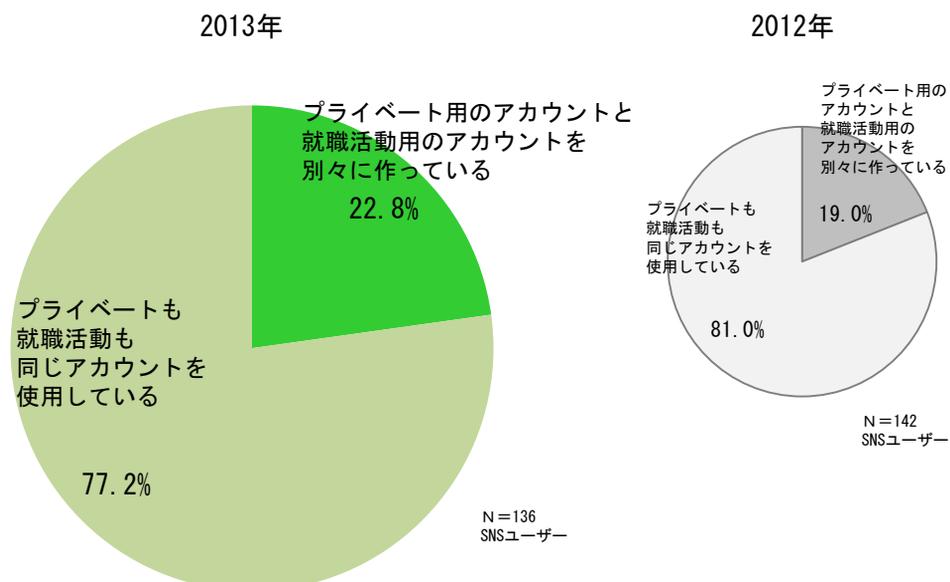
- Q. あなたは、就職活動をする上で、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用していますか。利用しているSNSをすべてお答えください。（MA）
 ※アカウントは持っていますが、そのSNSを就職活動で利用していない場合には選択しないでください。

<SNS利用者 性別グラフ>



- Q. あなたは就職活動を行うにあたり、プライベートとは別に、就職活動専用のSNSアカウントを作っていますか。（SA）

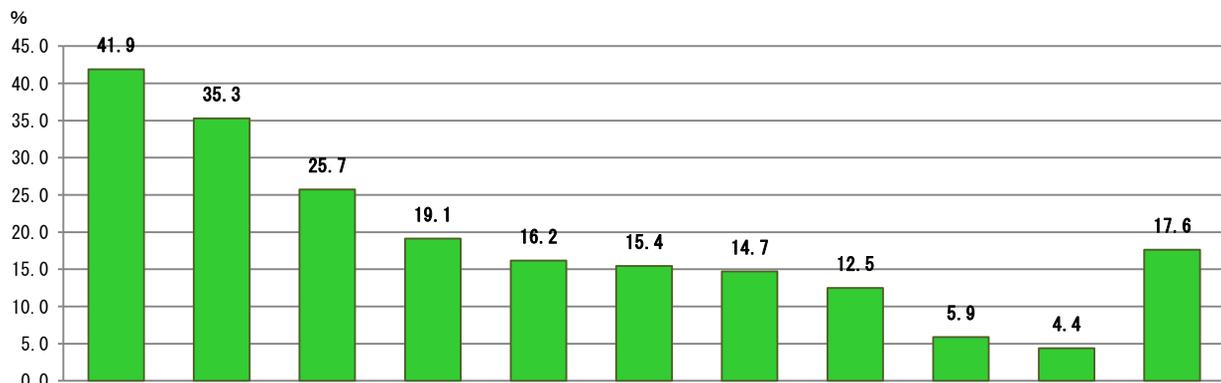
<SNS利用者 アカウントに関するグラフ>



就職活動にSNSを利用している学生のうち、4割以上が「企業のFacebookページを見て、情報収集するのに使用している」と回答した（41.9%）。

また、「他人（友人）の就職活動に関するカキコミを読むことで情報収集している」と回答した学生も3割以上存在している（35.3%）。

Q. あなたは、就職活動を行う上で、SNSをどのように使用していますか。（MA）



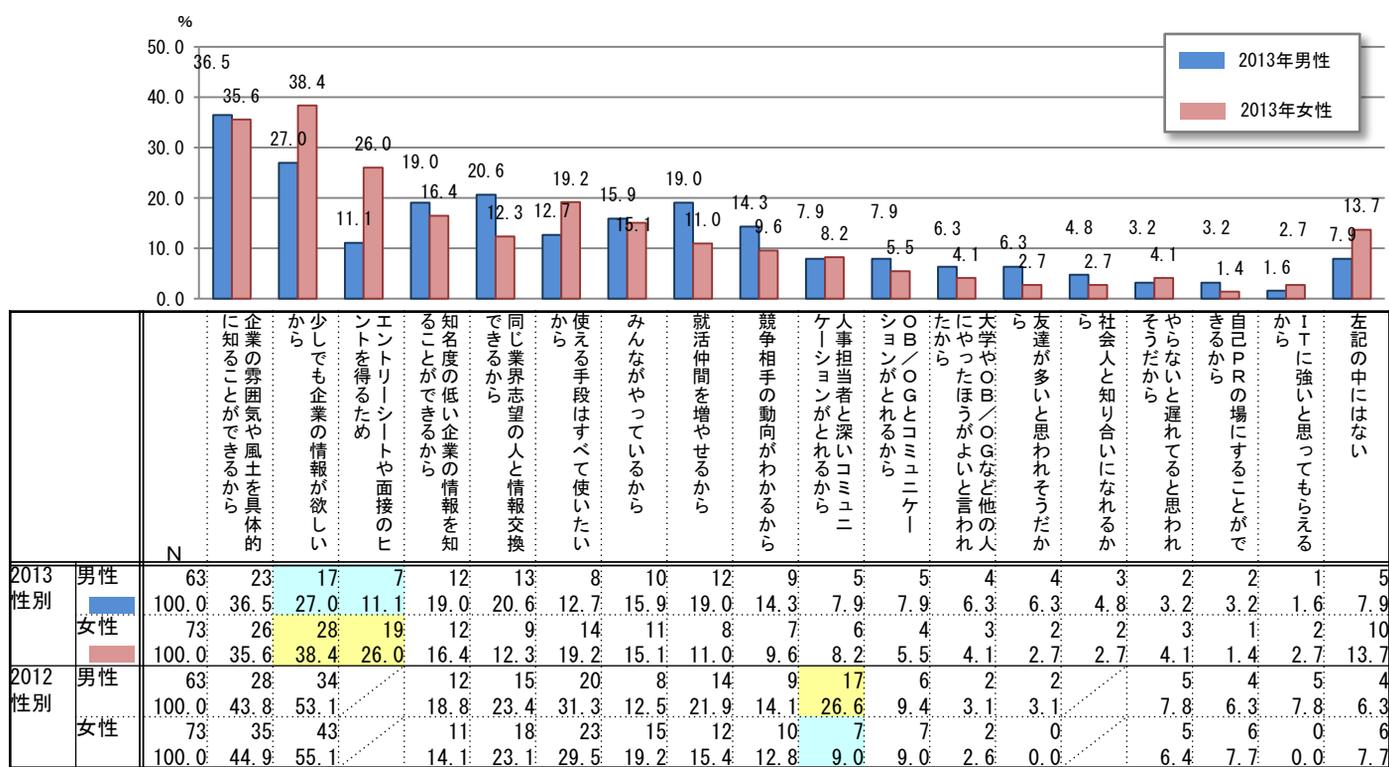
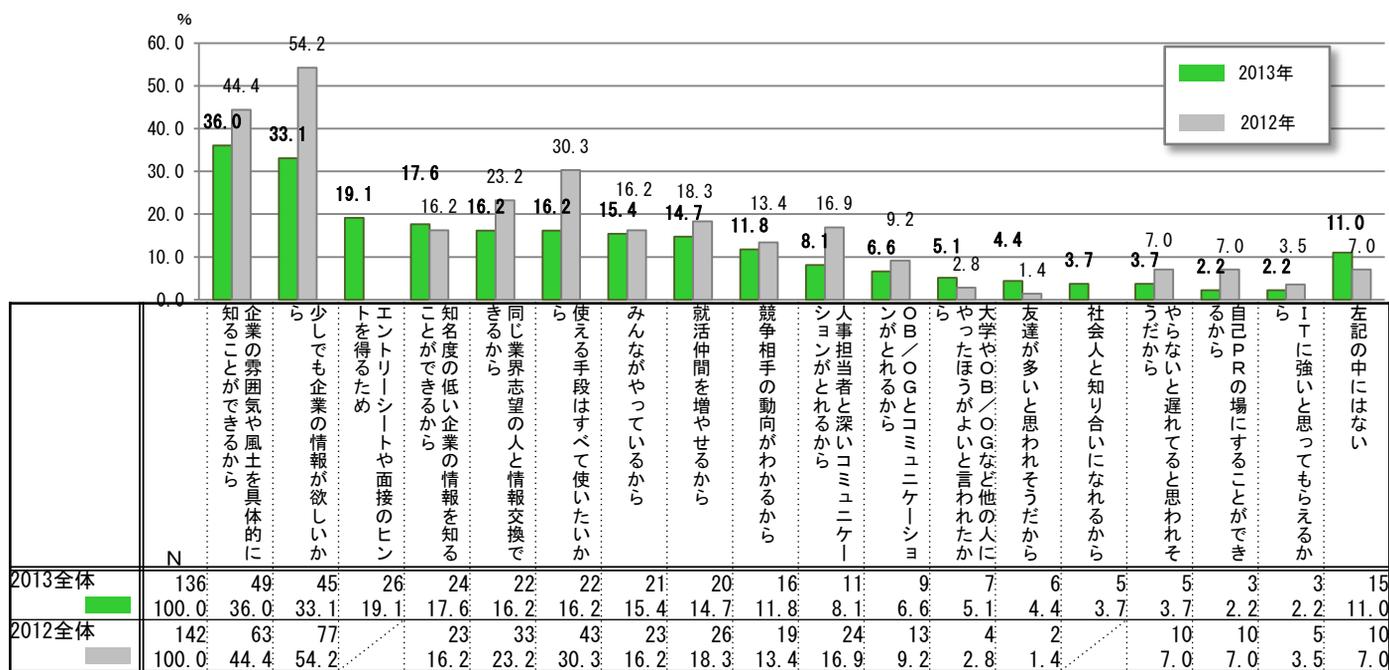
	N	企業のFacebookページを見て、情報収集するのに使用している	他人（友人）の就職活動に関するカキコミを読むことで情報収集している	自分の就職活動に関する近況をカキコミしている	自分と他人（友人）を比較して、就職活動進捗状況の確認をしている	企業のTwitterアカウントをフォローし、情報収集するのに使用している	エントリーシートや面接のヒントを発信しているアカウントからの情報収集のために使用している	就職活動中に知り合った学生とリレーションを保つために使用している	就職活動を支援している（学生）団体のTwitterやFacebookページからの情報収集に使用している	就職活動中に知り合った社会人（OB/OGを含む）とリレーションを保つために使用している	OB/OG訪問先の社員を探すために使用している	左記の中にはない
2013全体	136	57	48	35	26	22	21	20	17	8	6	24
	100.0	41.9	35.3	25.7	19.1	16.2	15.4	14.7	12.5	5.9	4.4	17.6
2013 男性	63	26	19	21	9	12	6	7	6	4	4	13
性別	100.0	41.3	30.2	33.3	14.3	19.0	9.5	11.1	9.5	6.3	6.3	20.6
2013 女性	73	31	29	14	17	10	15	13	11	4	2	11
	100.0	42.5	39.7	19.2	23.3	13.7	20.5	17.8	15.1	5.5	2.7	15.1

就職活動でSNSを利用している目的を聞いたところ、「企業の雰囲気や風土を具体的に知るから」が36.0%で1位。2位は「少しでも企業の情報が欲しいから」で33.1%。昨年の1位2位の順位が逆転する結果となった。

今年からの追加項目である「エントリーシートや面接のヒントを得るため」が3位にランクインしている（19.1%）。

性別でみると、「少しでも企業の情報が欲しいから」「エントリーシートや面接のヒントを得るため」「仕える手段はすべて使いたいから」の項目において、女性が男性を大きく上回っている。就職活動にSNSを利用することに対する、女性の積極的な姿勢が伺える結果となった。

Q. あなたが就職活動でSNSを利用している目的を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)



※「エントリーシートや面接のヒントを得るため」「社会人と知り合いになれるから」は今回調査からの追加項目

就職活動でSNSを利用していると回答した学生に、FacebookとTwitterのそれぞれの利用方法と、その利用方法に違いがあるのかをフリーアンサーで聞いたところ、基本的に実名登録であるFacebookを公的に、ニックネームなどで利用できるTwitterは私的に利用していると回答する学生が複数みられた。SNSの性格に合わせて、利用方法や発言内容をうまく使い分けていることがみてとれる。

Q. 就職活動の一環で、Facebookを利用しているとお答えの方にお伺いします。具体的にどのようにFacebookを活用していますか？（FA）

	フリーアンサー	性別	年齢
Facebookの 利用方法	企業のページを「いいね！」に登録して、投稿をチェックしている。就職活動で知り合った学生と交流している。	女性	23
	就職活動中に知り合った就活生とつながって、情報を共有している。	男性	21
	WEBセミナーに参加する。	女性	21
	就活に関するフィードを読んでいる。	女性	21
	友人の就職活動がどのようなものか参考にする。企業ページを見る。	女性	21
	人事の方に友達の登録人数を見てもらう。	男性	21
	OBとの連絡。	女性	22
	企業の新卒採用ページなどのフィード購読をして眺めている。	女性	21
	企業のページに「いいね！」を押して最新情報をチェックする。小さい企業で「いいね！」が少ないと個人的に対応してくれる企業もある。	女性	21

Q. 就職活動の一環で、Twitterを利用しているとお答えの方にお伺いします。具体的にどのようにTwitterを活用していますか？（FA）

	フリーアンサー	性別	年齢
Twitter の 利用方法	有名な就職コンサルタントをフォローして情報を得る。	女性	21
	いろんなセミナー情報を得ている。	女性	21
	SPI対策の問題を解く。マナー問題を解く。情報収集。	女性	21
	エントリーシートの締め切り日を随時つぶやくアカウントがあるので、フォローしている。	女性	21
	志望業界で働く社会人や専門家をフォローして情報収集を行う。	男性	21
	企業の最新情報をチェックしている。中の人をつぶやきを見ているだけでも何となく社風が伝わってくるので面白い。	女性	21

Q. 就職活動の一環で、FacebookとTwitterを利用していると答えの方にお伺いします。あなたは就職活動に利用する上で、FacebookとTwitterをどのように使い分けていますか？（FA）

	フリーアンサー	性別	年齢
FacebookとTwitterの使い分け	Facebookは本名で利用しているのでオフィシャル、Twitterは本名を出さずにプライベートとして使い分けている。	女性	21
	Facebookは企業のことを中心に、Twitterは友達のつぶやきを見る。	男性	20
	Facebookは正式に発信する場。Twitterは愚痴の言い合い。	男性	20
	Facebookは友達との双方向で、Twitterは情報を受け取るだけ。	男性	22
	Facebookは企業のページをチェックして、Twitterは2014卒向けの就活情報ページなどをチェックしている。	女性	21
	どちらも情報収集に活用しているが、Facebookでは基本的に閲覧のみ、Twitterではリプライなども含め自分も発言している。	女性	21
	Facebookは基本的に本名でやり取りするリアル空間のため、企業側も公的なページという印象。Twitterはつぶやきを投稿している中の人の個性が出たり、重要でない内容も含まれるので私的な意味合いが強く、その分気軽に見ている。	女性	21

就職活動でSNSを利用して実感したメリットをフリーアンサーで聞いたところ、「手軽な情報収集」（25件）、「就活仲間との交流・コミュニケーションの広がり」（21件）が1位、2位を占めた。

「就活仲間との交流・コミュニケーションの広がり」が昨年4位（9件）から2位（21件）へと躍進。情報の入手に関しては「手軽さ」が1位となり、「情報の幅広さ」や「情報の深さ」を挙げる声は昨年よりも少なかった。

順位	昨年順位（件数）	カテゴリ	件数
1位	-	手軽な情報収集	25
2位	4位（9）	就活仲間との交流・コミュニケーションの広がり	21
3位	2位（20）	情報のいち早い入手	13
4位	1位（22）	幅広い情報の取得	9
5位	6位（7）	企業への親近感	5
5位	-	SNS利用者対象の独自サービスの享受・独自情報の入手	5
5位	3位（17）	深い情報の取得	5
8位	4位（9）	他の就活生の動向チェック	1
8位	7位（5）	自己啓発	1
10位	-	その他	4

※有効回答数91を分類して集計

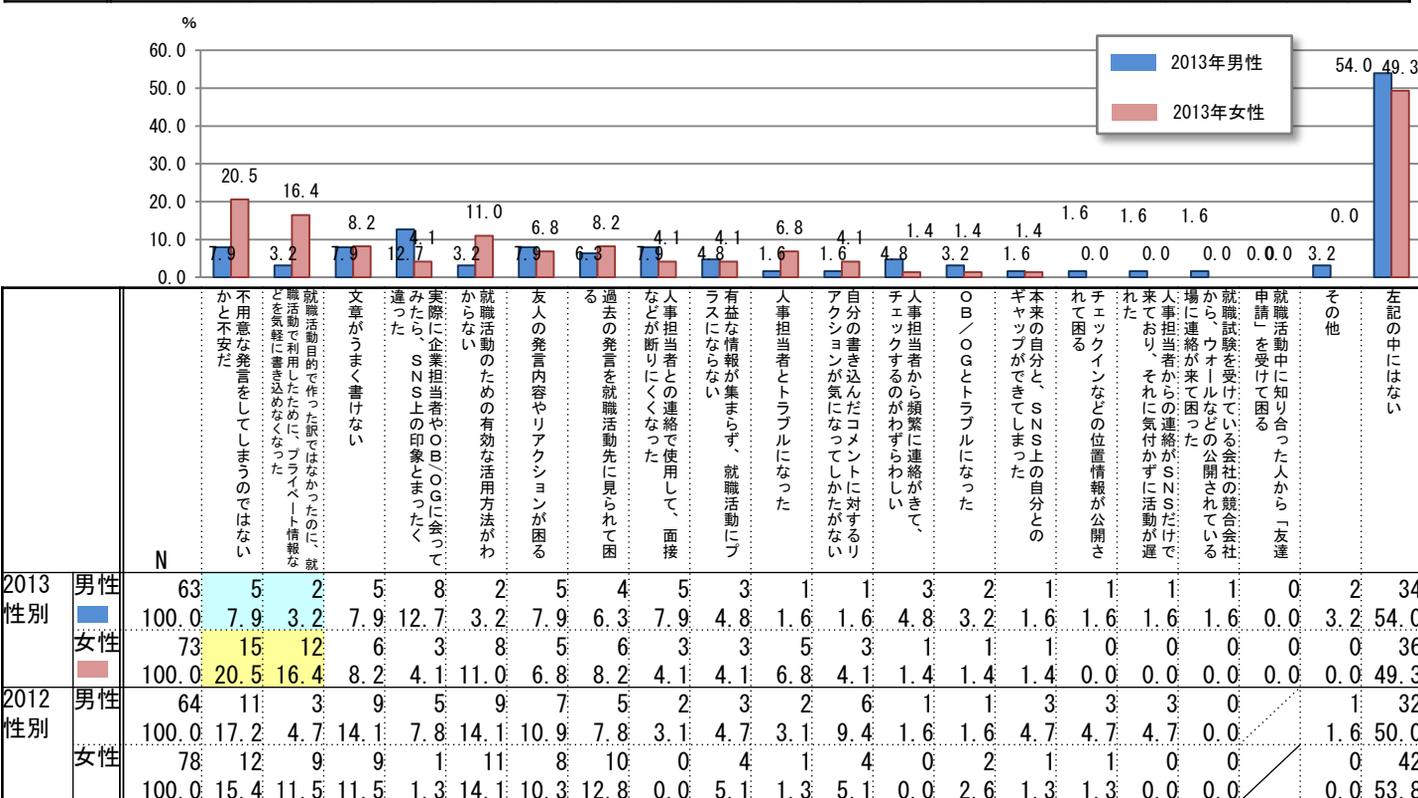
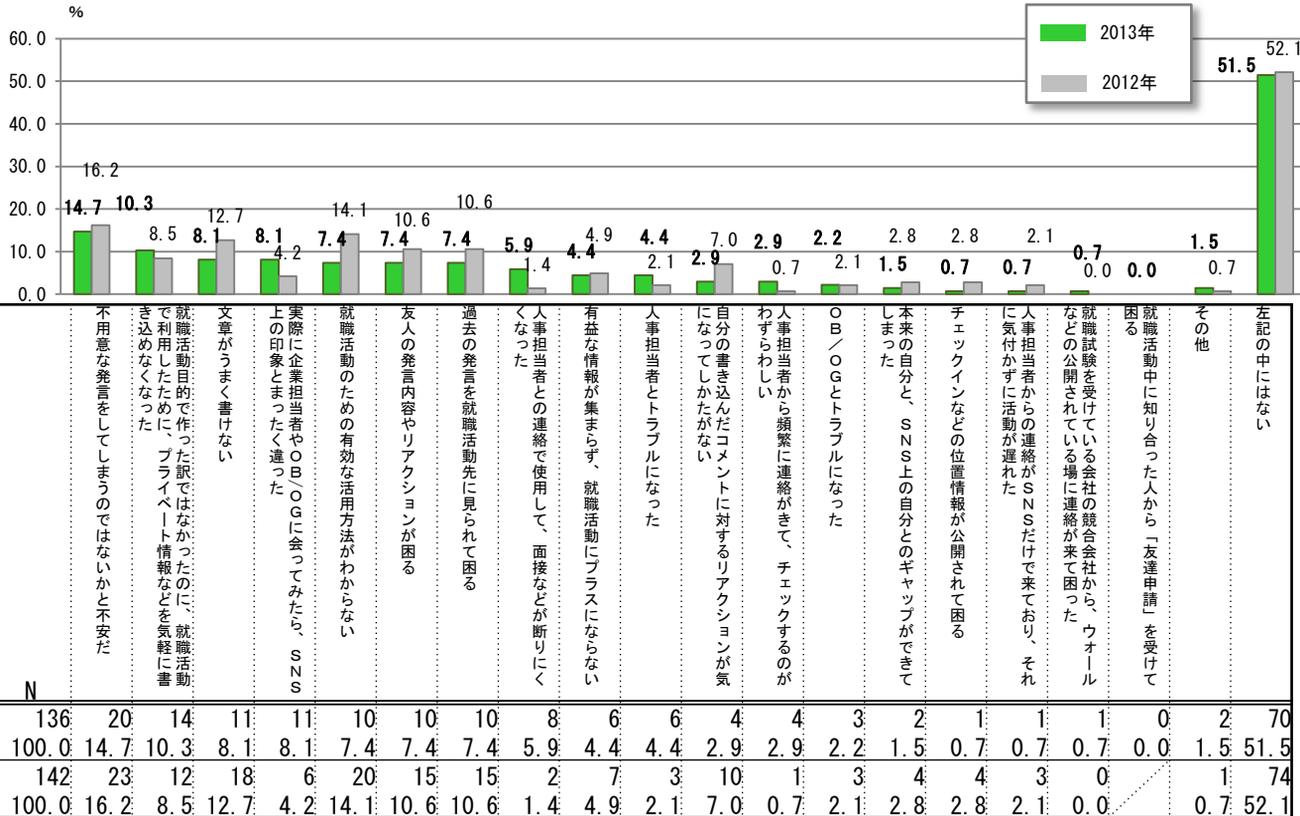
Q. 実際に、就職活動でSNSを利用してよかったことは何ですか？（FA）

カテゴリ順位		フリーアンサー	性別	年齢
1位	手軽な情報収集	Facebookを見ることで情報収集が自然にできること。	女性	21
		企業がアップデートしたことを気軽にすぐ確認できること。	女性	21
2位	就活仲間との交流・コミュニケーションの広がり	インターンシップで出会った仲間と連絡がとれること。	男性	22
		他大学の就活仲間が増え、モチベーションが上がった。	女性	21
3位	情報のいち早い入手	更新された時すぐわかる。	男性	21
		WEBサイトよりも早く情報提供してくれている企業もある。	女性	21
4位	幅広い情報の取得	情報が多いこと。玉石混交ではあるが、多いに越したことはない。	女性	21
5位	企業への親近感	社長と会話できた。	男性	23
5位	SNS利用者対象の独自サービスの享受・独自情報の入手	Facebookを見ている人限定の説明会の案内がきたこと。	女性	21
5位	深い情報の取得	独力では探せないような情報を得ることが出来たこと。	女性	21
		説明会だけでは知ることができないことを見たり知ったりすることができる。	女性	20
8位	他の就活生の動向チェック	周りの状況や速度と比較し、焦りすぎたり怠けすぎたりすることなく落ち着いて就職活動を進められていること。	男性	21

就職活動でSNSを利用する中で困っていることの1位は、昨年に引き続き、「不用意発言をしてしまうのではないかと不安だ」であった（14.7%）。

昨年は、「就職活動のための有効な活用方法がわからない」が2位で、ソー活元年で模索している様子がうかがえたが、今年は5位（7.4%）に留まった。

Q. あなたは就職活動でSNSを利用する中で、どのようなことに困っていますか？ (MA)



※「就職活動中に知り合った人から「友達申請」を受けて困る」は今回調査からの追加項目